

第5学年 ロマンタイム（総合的な学習の時間）学習指導案

日 時 平成23年11月16日（水）5校時
児 童 男子20名 女子34名 計54名
指導者 佐藤 能理夫 寺山 幸代
場 所 5年生教室・オープンスペース

1 単元名 『知ろう！創ろう！平泉の産業』 ～②創ろう！平泉の産業～

2 単元を展開するにあたって

（1）児童の実態

- ・3年生では平泉の名所を訪ね、自分たちの住んでいる町に愛着をもち、4年生では老人施設での交流を通して、地域の人とふれあうことができた。地域と自分とのつながりを意識し、自分が地域の一員として役割を担っているという思いをもつとともに、探究的活動を通して情報収集能力を高めることもできた。
- ・子どもたちは、ロマンタイムの学習に意欲的に取り組み、様々な方法で情報を収集する活動が好きである。しかし、課題追究するために情報を比較・検討したり、多面的に事象をとらえたりすることができない。また、友だちと意見を交流しながら考えを深めたり、自分の考えを相手に伝わるように効果的に発表したりする力が弱く、発言意欲も低い。

（2）単元について

- ・本単元では「町の活性化」をめざし、まず、第1小単元では、平泉の産業の現状を探る活動を通して、働く人の様々な課題や願いに気付かせたい。そして、第2小単元では、その課題や願いを受けて、繰り返し働く人とかかわりながら、思いを共有し、自分たちが町のためにできることを考える活動を通して、地域の一員としての自覚を育てていきたいと考える。
- ・第1小単元では、地域の産業の現状を調べる。その中で、働く人の夢や願い、平泉ならではの自慢がある一方で、苦労や問題点があることに気付かせたい。それを受けて、本単元では、町の産業が活性化する糸口を考える。繰り返し働く人とかかわり、友だち同士で考えを練り合うことで考えを深め、平泉らしさを広めたり、問題点の打開策を提案したりし、平泉の一員として活性化に一役買いたいという気持ちが高まるような構成を考えた。
- ・地域の方と繰り返しかかわることで、地域で働くことのすばらしさや大変さを知り、自らも地域のために役立ちたいという思いをもつとともに、身近にいる地域の方をより尊敬し、信頼して生活するようになると考える。

（3）指導にあたって

本単元では、第1小単元で作成したレポートをもとに、それぞれの産業の自慢や願い、あるいは苦労や問題点から課題を設定し、それらを広げたり改善したりする目的をもって活動を進めていく。また、繰り返し地域の人とかかわることで、

思いを共有したり、苦勞にふれたりしながら自分の思いを深めさせる。

【手立て1 自分の思いをもたせる工夫】

自分の考えを明確にするために、ワークシートに思いやアイデアを書きこませながら活動を進めていったり、活動の途中経過を掲示したりして、他グループの活動にも関心をもち、自分たちの提案をよりよくしようという意欲をもたせる。

【手立て2 目的に応じた表現活動の工夫】

本単元では、産業の活性化のために自分たちのアイデアを表現する活動を行う。その際、話し合い活動を通して相手意識を明確にさせたり、より効果的な表現方法を選択させたりする。

【手立て3 思いを広げ、深めるための伝え合う場の設定と学習形態】

単元を通して、個人で課題設定を行い、自分の考えをもった後に、

- ①グループ内での話し合い
- ②他グループと繰り返して意見交流
- ③グループに戻っての練り合い・まとめ
- ④学年内での発表・意見交流
- ⑤相手を設定した発表

という流れを構成している。同グループでの話し合いを中心に他グループとの意見交流もすることで、客観的に考える力を養い、それを自分たちの提案に活かすことができるようにする。異業種での話し合いの際には、目的に応じて意図的にペアリングを行い、子どもたちに気付かせたいことが出やすくなるよう工夫する。

このように、活動のたびに繰り返し話し合い活動を取り入れることで、発言することへの抵抗感を減らし、発言することで互いが高まることを意識させたい。また、話し合いのたびに、聞く視点を明確に示し、聞く側にもメリットのある活動にしていきたい。

3 単元の目標と育てたい力

元気な平泉を創りたいという子どもの願いをもとにして、平泉の産業の活性化のために、現状を知り、課題追究する活動を通して、地域の人と繰り返しかかわりながら、自分も地域の一員であるという自覚をもち、主体的に活動できる。

【学ぶ力】

- ・地域産業に興味・関心をもち、地域が活性化するための課題設定ができる。
- ・集めた情報を比較検討したり、関連付けて考えたりしながら、自分の考えをまとめることができる。

【かかわる力】

- ・繰り返し地域とかかわりながら、地域の一員として活動したり、よりよい地域にするために地域の人に働きかけたりすることができる。
- ・課題解決に向けて、友だちと意見交換をし、アドバイスし合いながら、互いをさらに高めようとするすることができる。

【生かす力】

- ・地域が活性化するためにどのようにしたらよいか考えをもつとともに、地域と自分とのつながりを意識し、これからの自分の生活に生かすことができる。

- ・目的と合っていないんじゃないかな。
- ・相手が違うほうが効果的なのでは？
- ・こんなことを加えてみたら？
- ・それはお店の人も望んでいるアイデアなのか？
- ・このアイデアは自分にたちにはなくてびっくり！
- ・自分たちにも、取り入れたいな。

4 交代して、もう一度意見や質問を出したり聞いたりする。

5 意見や質問を受けて、指摘されたことや得たことについてグループ内で検討し、アイデアを固める。

- ・チラシを配る相手が違うほうが効果的かも？
- ・確かに、ポスターにしては、書く内容が多すぎるかもね。
- ・あのグループみたいに、〇〇も入れたほうがいいね。
- ・やっぱり、考えた通り、このままでいこう。

6 グループ内で検討したことを発表する。

- ・なるほど、その目的なら、相手を変えたほうが効果的だ。いいアドバイスだな。
- ・アドバイスしたけれど、その考えなら修正しないのも納得だ。

7 本時の学習をふりかえり、次時の活動の確認をする。

グ

グ

全

- ・考えてきたことを発表するだけでなく、出された意見についての質問意見交換も活発に行うよう助言する。

- ・内容シートの修正点が後で分かるように、消しゴムを使わずに修正させる。
- ・言われたことをそのとおりに修正するのではなく、理由をもって修正・保留するよう助言する。

<学ぶ力>

目的意識を明確にし、効果的な表現方法や相手を選んでいる。 (活動・シート)

<かかわる力>

よりよい提案にするため、アドバイスしあいながら、互いをさらに高めようとしている。 (活動・発言)

- ・自分たちの計画のよさを認識させる
- ・意図的指名をし、全体で再度検討が必要な点などを確認して、次時につなげる。
- ・グループ内で内容シートを再検討し見学に備えることを伝える。

4. 単元の計画 (本時 29 / 45時間)

時期	過程	主な学習活動 (時数) と予想される児童の思考	教師の支援	育てたい力 (評価規準と方法)		
				学ぶ力	かかわる力	生かす力
8月 9月	つかむ 10	○前単元を振り返り課題を設定する。(4) ・平泉の産業の活性化のために、このお店でこんなことをしてみたら、もっとこんなふうになるかも。 ・それは、自分たちに実現可能なあ？	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ産業について、前単元で調べた情報から特徴や問題点を整理し、平泉の未来を見据えた課題を設定させる。 特徴や問題点から、町の活性化につながるかという視点で課題を設定させる。 調査し発信することで何を明らかにし、どんな利点を目指すのかを明確にさせる。 自分のアイデアが自分たちの力で実現可能かどうか考えさせる。 	地域の人から得た情報をもとに、地域の活性化に関する課題を設定している。 (発言・シート)	地域の人から得た情報を新たな課題に結び付けている。 (発言・シート)	学習を振り返り、地域の活性化につながる課題を設定している。 (発言・シート)
		○活動の計画を立てる。(6) ・このプロジェクトを実行するために、見学で聞かなければならないことは何だろう？				
10月 8	しらべる 8	○働いている方に会いに行き、情報収集する。(6) ・自分たちが考えたプロジェクトは、お店の人の思いと一致しているかな？	<ul style="list-style-type: none"> 何回か伺い、自分の意見も伝えながら繰り返しやり取りすることで、考えを深めさせる。 	集めた情報を再検討し、補足や深化するために再び情報を集めることができる。 (活動・シート)	繰り返し地域の人とかかわりながら、自分の考えを深める。 (活動・シート)	地域と自分とのつながりを意識している。 (活動・シート)
		○稲刈り・稲こき体験を行う。(2)				
11月 9	まとめる 9	○集めた情報を整理し、問題の解決や、地域活性化に生かせるかななどについての自分の考えを持つ。(4) ・このプロジェクトを実行して、平泉の産業の活性化につながるかな？ ・どんなことを盛り込むと充実した内容になるかな？	<ul style="list-style-type: none"> 事象と要因、または、事象と事象を関連付けて考えさせ、なぜそうになっているのか推測するよう助言する。 推測したことを解決できる内容になっているか考えさせる。 	情報を比較検討したり、関連付けて考えたりして課題解決に結びつける。 (発言・シート) 相手や目的に応じてよりよく伝わる表現内容を選ぶ。 (発言・シート)	友達の考えやよさを認めながら、意見交換を繰り返し、考えをまとめている。 (発言・シート)	思いや願いを高めながら、課題に向かって主体的に活動しようとしている。 (シート)
		○プロジェクトチーム内で、意見交流しながらアイデアの内容を検討する。(5) ・自分の考えとチームの人の考えの違いは何か？ ・よさを集めて効果的な提案内容を考えよう。				
		○計画内容を学年間で発表し、他グループの友だちから意見をもらい練り合う。(3) (本時 2/3)	<ul style="list-style-type: none"> どうなるために、誰に対して、どんなことを、どうやって実践するかなど、相手意識や目的意識をはっきり持つよう助言する。 付箋を使ってアドバイスを伝えさせ、後で読み返して参考にできるようにする。 	目的意識を明確にし、効果的な表現方法や相手を選んでまとめている。 (活動・シート)	よりよい内容にするため、アドバイスしあいながら、互いをさらに高めようとする。 (活動・発言)	思いや願いを高めながら、課題に向かって主体的に活動しようとしている。 (シート)

12月	ひろげる 15	<ul style="list-style-type: none"> ・どうなるために、誰に対して、どんなことを、どうやって発信するかがはっきりしているかな？ ・それは効果的かな？ ・もっとよい方法はないかな？ <p>○働いている方に会いに行き、計画内容や方法のチェックをしていただく。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この内容を盛り込んで大丈夫かな？ ・付け足したほうがよいことはないかな？ ・方法や相手に変更はないかな？ <p>○意見発信の準備をする。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの考えが効果的に伝わるように。 <p>○準備した内容について、学年内で発表し、より効果的になるように意見をもらい、修正する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的かな？改善すべき点は？ ・発表方法は？作ったものは？ <p>○働いている方に会いに行き、準備したものをチェックしていただく。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性につながるか、相手の立場に立って考えられた内容かなど、聞く視点を与えて考えさせる。 ・考えが効果的に伝わるよう表現方法を工夫するよう助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ表現方法が生きるような内容になるよう助言する。 (例 ポスター…レイアウト、文字の大きさ、内容の厳選 等) ・ワークショップ形式で行い、できるだけ多くの他グループの発表に触れる機会をもつ。 			<p>繰り返し地域の人とかかわりながら、自分の考えを深める。 (活動・シート)</p>
1月 2月 3月	みつめる 3	<p>○平泉の産業のこれからについて、意見を発信する。(2)</p> <p>○自分たちが実践できることについて校内で発表・呼びかけを行う。(1)</p> <p>○「感謝の会」を開き、自分たちの活動についてお世話になった方々に報告する。(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を明確にさせ、発信するよう助言する。 ・小学生の立場から平泉の活性化のためにできることを全校で共通理解する目的で取り組ませる。 ・学習を進めるにあたりお世話になった地域の方を招いて、自分たちの活動報告をするとともに、感謝の気持ちを伝えさせる。 ・収穫したもち米を調理し、地域の方々と一緒に味わわせる。 		<p>よりよい地域にするための活動を行う。地域の人たちに働きかけようとする。(活動)</p>	<p>地域と自分とのつながりを意識し、これからの自分の生活について考える。(シート)</p>